

# 高野山中学校説明会質疑応答

質問者：保護者・先生 回答者：町長・担当者

Q 小中一貫の検討委員会で大原学園に視察もしましたが、今日話を聞きまして漠然とハード的な話をするのはなくソフト的なものが重要だと感じている。高野町として子供が未永く小中学校に通ってもらえる魅力のあるものを目指しているのか。掲げているのであれば教えてほしい。

A 小中一貫に向けて教育委員会で議論をしてもらっていた。検討会議、視察もしてもらった。小中一貫を目指しますというプリントを平成28年11月に子供を通じて各家庭に配布させて頂いた。そこから小中連携が始まりました。学校の先生方や教育委員会から小中一貫は難しいとの話があった。中学校の先生のほうが、抵抗感があるのではないかと。小学校の先生はそんなに違和感があるわけではないと思っている。橋本、伊都管内に小中一貫校に務めたいという先生がたくさんいると進めやすいがそれぞれ見えないものがある。無理やり進めるのは難しいので連携をしてもらっている。

Q 高野山小学校を卒業して中学校にくることが当然だとすれば、よその中学校にってしまうのは、家庭の事情等があると思うが意識調査などをすれば、なぜそこにいったのかという理由がわかるのではないかと。そうならないようにするというテーマが見つかるのではないかと。

A アンケートの中に入れていきます。

Q 親にも子供達にも魅力のある学校にしてほしい。

A 保護者の方が自分たちも勉強したいなと思える、外部からも集まってもらえるような内容をしっかり考えていかなければならない。

Q 下の学校にってしまうのは、親の意識が重要だと考える。そうしないと資料のようにどんどん人口が減ってします。

A どんどん人口が減るので学校が必要なのかという方がいらっしゃるかもしれないが、人口の減りをどれだけ抑えていくかを考える必要がある。統計上、人口は減っていきます。何年後かには1200人くらいになります。そして、これからは全国で人口が減少していきます。全国で人の取り合いが起こっています。女性の人口も減ってくるので出生率がかなり上昇すればかわっていくと思うが当面は減っていく。それをどう食い止めていくか、なだらかにするかは、移住者等にいかに来てもらうかが課題

Q 人口が少なくなっていくのを食い止める。または、なだらかにする策はありますか。

A 仕事があって学校があれば人は住んでくれる。うちの町がやってこなかったこともあるが平成7年から平成27年で6000人から3000人になった。なぜかという役場の職員も金剛峯寺の職員も事業者もみんな下から通っている。住居の自由があるが、町から人が出ていくことを考えていかなければならない。そこで義務教育の無償化をさせて頂いた。財源は、ふるさと納税をつかった。こども園も無償化にしたし、この町は、子供から中学校まではお金はいらぬ。医療費も中学校まで無償化している。医療費無償化、給食費の無償化は他の自治体でも取り組まれているところがあるが、予算の配分を子育て支援に回している。子育て支援をすることが全世帯を支えることになる。

Q 仕事、働く場所についてはどうお考えですか。

A 高野山の交流人口は年々増えている。インバウンドに支えられている部分があるがものすごく恵まれている場所である。それに関連する3次産業の仕事がたくさんある。それを支えるためには1次産業を活性化させる必要がある。花坂、富貴に人が来てもらえるように耕作放棄地の解消に力をいれている。富貴でホップをつくり、筒香の米を給食に使っている。来年度ぐらいにフルーツを作ってもらおうかと考えている。ハウスなどを行政が用意してこの事業に本気でやりたい人を募りたい。こうゆう仕事をつくりたい。高野楨の放置林も管理して行って商品にしたい。あとは参拝者が増えることを期待したい。

Q 小中一貫校を作るにあたって高野山内に人がいないともったいないと思います。

A 中学校までは高野町でいたいという学校を作るという施策をとりたいということです。

Q 子どもがいなくなっていくても大人も使える施設になれば長期的に使えるのではないかと。そこでプールの話ですが、教育委員会の案で8月を住民開放となっていますが、ずっと開放とかできないですか。

A これは教育委員会の案ですが、委員さんから出てきた意見です。あくまで要望です。住民みんなで使えることも考える必要がある。でも保護者の方の心配の意見を聴くことが必要と思っている。

Q 年中使えるといいですよ。

A それはそうですね。

Q スイミングを下に習いにいかないとあかんこともなくなるのか。

A はい。各年代にあった床が動くことが望ましいと思っている。

Q そんなことができると素晴らしいですが。

A 床が動くことによってふたになって保温効果がでるそうです。自動であがるやつがある。

Q 室内じゃないとだめですよ。

A プールは室内を考えています。中学校のプールは防火水槽で置いておきたい。

Q 高野町は出ていく人を少なくしても、増えることがない。川筋の人に高野町はこんなことをしています。皆さん知っていますかって広報しているのか。

A 義務教育の連携は29年度途中からやっている。今年の4月からいろんなところで話をすると反響がある。今年の4月からFM 橋本でこんな情報を発信していこうかと思っている。FM 橋本だけでなく南泉州も視野にいれている。鍋谷トンネルができたので和泉市や泉佐野市ぐらいなら十分通える。花坂からでも通える。チラシよりもネットとかで集中的にやろうかと思っている。

Q 結局無償化の時だけ来てもそれでおわったら意味がない。

A それはわかります。仕事がちゃんとしないとそこは無理になる。ただ、そこは出入りが激しくなるがそれは仕方ないと思っている。

Q 役場の人や金剛峯寺の人はその期間だけでも戻ってこないのか。

A 面接で言っただけですが、高野山に住んでほしいことを伝えている。高野山に戻ってきてくれている職員もいる。管理職は、高野山に住所があることが必須と考える。

Q それを学校の先生に求めることはできないか。せっかくこんな話をしてもよそに行ってしまって知らなくなってなるのもったいない。

A 富貴地区とかはもともと先生が多い。地域に根付いていた。高野町の子供達が先生を目指してくれれば戻ってきてくれるのではないかと。可能性がでてくる。先生の異動は橋本、伊都管内に異動になる。この前にも地元の先生がいてくれていた。高野町出身の先生を輩出することが一番根づく。

Q 今出している案についてですが、体育館が校舎から遠い。冬場どうやって移動するのか。こういう意見というのは今後聞いてもらえるのか。

A 当然。今後はアンケートが中心になってくると思うが。直接職員に言ってもらってもいい。役所的には一つの校舎に小中学校をいれたい。できるだけ集約すれば適正債はもっと使える。教育委員から校舎を分けてあげてほしいという意見があった。

Q 他の地区ほど高野山地区は中一ギャップがないように保護者からの目線では感じる。それが一緒になると成長の意識がうすまるからだめってことですかね。小学校から中学校になるときに通学路が変わるから気持ちが変わるという声を言いたことがある。それがなくなるとタラタラなるのかな。

A 国からは、できるだけ公共施設は、集約化してくださいという求めがある。

Q ほかにも集約化しているところがあるのか。

A 集約化しているところがあります。建設ラッシュ時に公共施設を建てているので整備、集約化する必要がある。役場庁舎もどこか利用するとか、どこかの事務所と一緒にになるとか効率化が必要と思っている。小学校棟・中学校棟を作って渡り廊下でつなぐと適正化債は使えない。でも真ん中に共用棟をつくって一体型にすると適正化債は使える。こういう施設が必要だ、こんな施設がいるという先生の意見が教育委員会を通してでも必要。

現在、お配りした案ではテニスコートがなくなるので体育館をリフォームして全天候型の運動場にしてはどうかという考えもある。テニスコート二面とかフットサルとかできるのではないかと。総合グラントも夏場ぐらいしか使っていない。中学校のメイングラウンドは総合グラントを使ってもよいと思う。

Q プールのうえに体育館を作ってはどうか。

A 土地を節約できるのでそれも考えたが湿気の問題がある。湿気で施設がわるくなる。高野口のアザレアホールが湿気でカビまみれ。二階がプールであるが、分離がのぞましい。木をメインで使いたい。

Q 完全な木造を目指すの？

A 完全な木造は難しい。鉄骨に木を使うなど、組み合わせが考えられる。

A この際、借金しないでいけそうなので自分たちが通いたい学校にしたい。先生も自分たちが授業したい施設にしたいと思う。

Q 今までの経験上、先生の立場としてこういう施設がよかったとかありますか？高野山出身の保護者が多いので地元しか知らない。よその学校のよいところが知りたいし、案にいれてほしい。

A 部屋のことについては先生の意見が中心になるかと思う。

Q ハード的なことはどうにかなるかと思う。ソフト的な問題が必要。

A 中一ギャップを考えるうえで、花坂小学校のことを考えなくてはならない。花坂地区としては学校を残してほしいという願がある。現在、小中連携は花坂地小学校ができてない。町で教育格差があるのはどうかと思っている。花坂小学校も一緒になれば小中一貫はさらに進みやすい。

Q 小学校がない地区には住みたくないという人はいる。できるだけ近くにあるほうがいい。

A 移住者を考えると花坂に可能性がある。

Q 花坂は小学校が存続したい気持ちもわかる。花坂地区の子供達が高野山にきっちり通える方法を考える必要があるのではないか。

A 高野山小学校と花坂小学校は物理的に一緒にすることは可能と思っている。今後の課題。富貴小学校までは無理かなと思う。

Q 先生たちの時間外とかが問題になっているが、一貫校になって負担が増えることがあると先生たちが大変になるだけで来てくれなくなるのではないか。連携を先に強化しないと建物の形ばかりとらわれていてはダメ。補助とか使うべきだと思うが現場の意見をもっとくむ方がいい。

A 義務教育学校にしたいと言ったこともある。補助率が高いので。行政側としては考えてしまう。義務教育学校にいきなりするには無理があるので小中一貫校を目指すということで平成28年にプリントを配布しています。これに基づいて進んでいます。この方向性の先生を町としても確保していかなければならない。学校の建設も必要だが、ある程度の年限を決めて小中一貫にしますということを教育長中心に決めてほしい。

Q 高野町だけでやってもむずかしいのではないか？橋本管内で考えてもらうことはできないか。

A 市町村をまたぐ、地域性が違うので話をするのはむずかしい。町としては小中一貫については、教育委員会の意見を尊重する気持ちでいます。中学校の校長先生が小中一貫をしたいと思っている先生を引っ張ってくることができると聞いたことある。

Q 小中一貫をするということであれば公募することができる。そういう目的をもった先生が小中一貫することが理想です。学校というのは、いろんな要素がある。子供が通いたい学校、親として通わせたい学校、教師として働き甲斐のある学校、地域の中心の学校、全国から注目させる学校になってほしい。学校を優先して施設整備してくれることをうれしく思っている。

A 教育委員会と学校の先生と協議をしていただいて小中一貫を進めていただけたらなと思います。

Q 今日の説明会がなんの説明会なのか？話が広がりすぎてまとまってない。要点をしぼって話をしてほしいなと思います。障害をもった子供に対する施設のあり方について考えてほしい。

A 説明会の狙いは、町として教育施設を整備していきますということを伝えなかった。これから皆さん意見を出してほしいと思っています。これからはアンケートが中心になるかと思いますが。

Q 説明会等で意見を言うのは、言いにくいと思いますのでその辺は配慮が必要だと思います。また、どんな施設が必要だという案がないと話をしにくい。出してほしい。あと南泉州へ通勤するのはきついと思います。

Q もっと具体的に決まってくれば話しやすいのかと思います。例えば小さい子供と中学生と一緒に遊べるのかとか気になるところがあります。

Q この段階で保護者を募っても保護者が集まらない。もっと具体的に決まった後に保護者を呼んでもいいのではないか。保護者が来ないのだから決めていってもよいのではないか。

A 12月のこども園のお遊戯会で少しでも早くこの計画のことをお伝えたくて話をさせていただきましたが、その反応が一部で勝手に決められているというものでした。これは丁寧に保護者の方に説明する必要があるかと思っています。どんなことでもいいねって言ってくれる人も、批判もあると思います。

Q だいたいこんな感じという案があった方が意見を言いやすい。

A 次の段階ですね。

Q もっとみんなに知ってもらうことが大事。小中一貫の検討委員会をやっても保護者の人はこんな反応です。町で広報してもらったりしたけど変わらなかった。保護者の考えを変えることも大事です。それでもだめなら自分たちで決めていくことが大事。

Q 高野山中学校はこの場所に建てることは決定ですか。

A ここで計画したいなってことです。議会の理解も必要です。

Q この場所で中学校を建設するなら一時、小学校等への引っ越して話もありましたが、それは実際、難しいと思います。引っ越しのないようにしてほしいです。今目の前にいる子供達が大事です。その子達にしわ寄せはいかないようにしてください。校舎と校舎を離すと起債の対象外になりますよね。間に共有部分をいれると起債の対象になるという理解でいいですか。

A 1階小学校、2階中学校みたいにした方が効率的なのですが。

Q 分けてほしいです。

A そのあたりは、住民の意見、議会の意見、先生の意見を聴きながらになると思います。